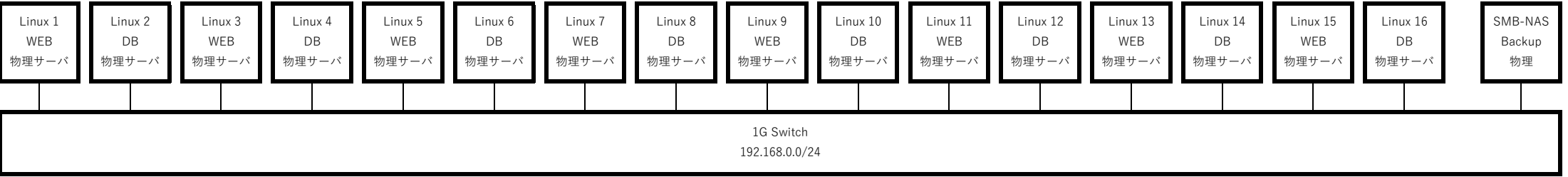
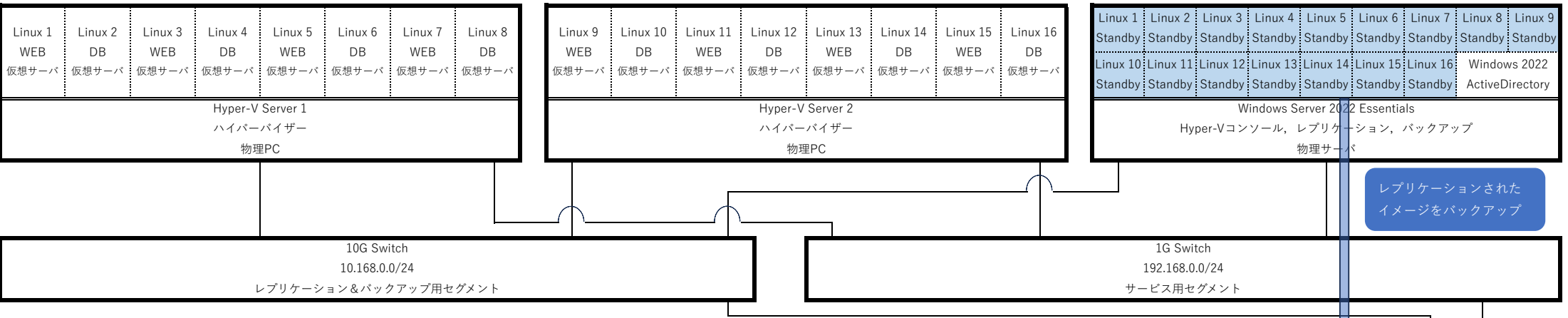


既存環境



移行後



顧客の課題と要望

- 電気代の削減
- サーバ追加時のLinux環境構築に伴う、コストの削減
- 物理サーバ障害時の復旧時間の短縮
- 稼働管理及び、バックアップ管理の一元化
- 顧客と契約しているユーザが使用するシステムの為、クラウドは不可
- 復旧時間が短時間であれば多少のダウンタイムは許容可能

本構成の特徴

- 物理サーバ16台を2台のデスクトップパソコンと1台の既存サーバに集約し電気代を大幅に削減
- サーバを増やす際には、マスターイメージの流用で即時稼働可能
- 物理故障時のレプリケーション環境を用意し、即時復旧可能
- バックアップはWindowsServer標準のバックアップ機能で一元管理しNASに保存
- メンテナンス時はダウンタイム0でのライブマイグレーションが可能 (NAS不使用)
- 本体はサーバではなくPCを使用した為、コストを圧縮
- ハイパーバイザーは無償ライセンスであるHyper-V Server 2019を使用しコストを圧縮

各機器の性能及び価格

Hyper-V Server 1 & 2

- 多少高スペックなデスクトップパソコンを使用
- CPU AMD Ryzen 9 7940 HS(8コア/16スレッド)
- MEM DDR5 128GB
- SSD 2TB NVMe PCIe 4.0 Gen 4
- LAN 2.5G Ethernet×2
- 価格 ¥150,000/台

Windows Server 2022 Essentials

- Linuxが稼働してた物理サーバを流用
- CPU Intel Xeon E5-2630v4 ×2
- MEM DDR3 128GB
- HDD SAS 300GB×16本(RAID10)
- LAN 10G Ethernet×2(増設)
- 価格 ¥100,000(OSとLANカードのみ)

NAS

- 既存環境から流用
- CPU AMD Ryzen V1500B(4コア/8スレッド)
- MEM DDR4 16GB
- HDD SATA 8TB×4本(RAID10)
- LAN 10G Ethernet×2
- 価格 ¥0

10G Switch(アンマネージ)

- SMB向け製品を使用
- 価格 ¥60,000

1G Switch(アンマネージ)

- 既存システムから流用
- 価格 ¥0

一般的なシステム構成価格と比較し、1/10程度までイニシャルコストの大幅圧縮を達成